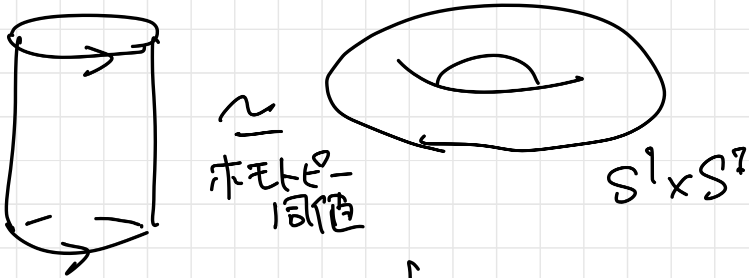
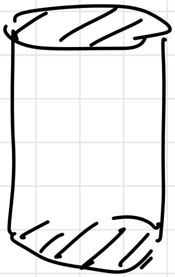
東工大2012[6]

(1) $X =$

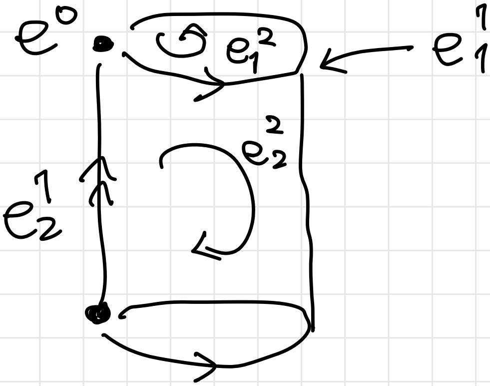


によって、 $H_n(X) = \begin{cases} \mathbb{Z} & (n=0,2) \\ \mathbb{Z}^2 & (n=1) \\ 0 & (\text{otherwise}) \end{cases}$

(2) Y



を胞体分割して、

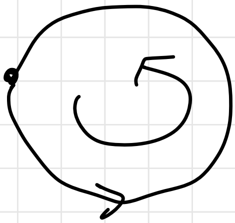


$\{e^0, e_1^1, e_2^1, e_1^2, e_2^2\}$ を Y の胞体分割とする。鎖複体

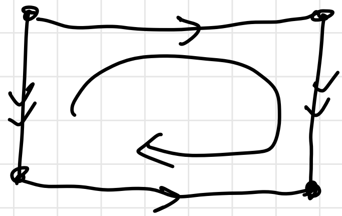
$$0 \longrightarrow \mathbb{Z}^2 \xrightarrow{\partial_2} \mathbb{Z}^2 \xrightarrow{\partial_1} \mathbb{Z} \xrightarrow{\partial_0} 0$$

を導く。

• $\partial_2 : \mathbb{Z}^2 \to \mathbb{Z}^2$ について



e_1^2 は e_2^1 に対応する.

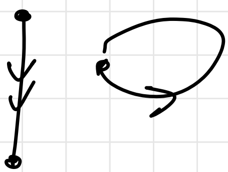


e_2^2 は 0 に対応する.

よって ∂_2 は $(n_1, n_2) \mapsto (n_1, 0)$

より $\mathrm{Ker}\,\partial_2 \cong \mathbb{Z}$, $\mathrm{Im}\,\partial_2 \cong \mathbb{Z}$.

• $\partial_1 : \mathbb{Z}^2 \to \mathbb{Z}$ について



e_1^1, e_2^1 いずれも 0 に対応する. よって.

∂_1 は $(n_1, n_2) \mapsto 0$. よって

$\mathrm{Ker}\,\partial_1 \cong \mathbb{Z}^2$. $\mathrm{Im}\,\partial_1 \cong 0$.

• 以上より $H_2(Y) \cong \mathrm{Ker}\,\partial_2 \cong \mathbb{Z}$.

$H_1(Y) \cong \mathrm{Ker}\,\partial_1 / \mathrm{Im}\,\partial_2 \cong \mathbb{Z}$.

$H_0(Y) \cong \mathrm{Ker}\,\partial_0 / \mathrm{Im}\,\partial_1 \cong \mathbb{Z}$.

より $H_n(Y) = \{ \mathbb{Z}\ (n=0,1,2),\ 0\ (\text{otherwise})$